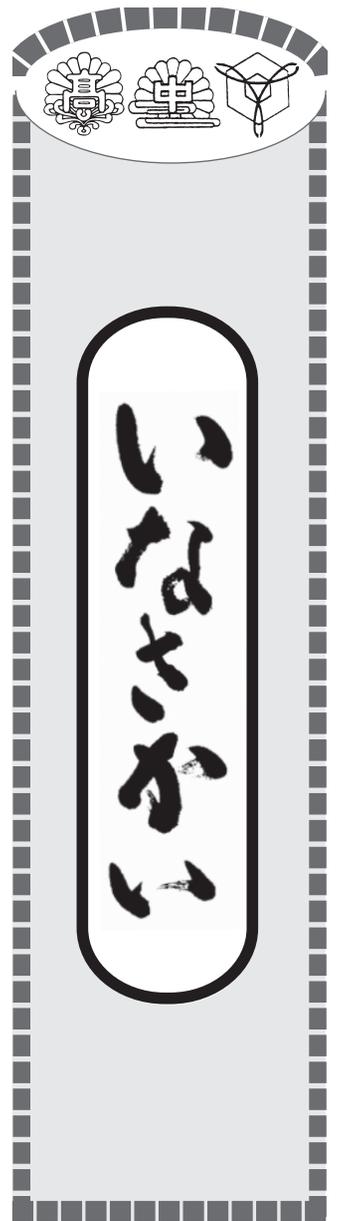




千家達彦 前いなさ会会長書 闘魂



編集・発行
島根県立大社高等学校内
いなさ会事務局
電話 (0853) 535039番
郵便振替口座 01310-5-18808



When I'm 64

いなさ会会長
北島 建孝

なかなかコロナ禍から脱出できません。今年こそは、規模を縮小してでも総会・懇親会を行いたかったのですがワイナリーでの懇親会は断念しました。残念ですが、来年に期待しましょう。

私は高校生の時、自分の将来を真剣に考えてなどいなかった。部活にも入らず、勉強に身も入らず、無為に過ごしていたように思う。そんな生活だから、実は周りの同級生達をととても眩しく感じていた。教師になりたい、大学でこんな勉強をしたくない、幼稚園の先生になる、人の為に尽くしたい等、いつもそんな話をするわけではないが、時折そんな言葉を聞くと、とても引け目を感じた。友は「お前は将来が決まっています。いわなあって」と云うが、良いなんて思ったことは一度も無かった。しかし、その道から逃げ出す勇気も無く、別なところに道を拓く努力もせぬまま、流されるように今の自分に辿り着いてしまった。

ビートルズが好きだった。既に解散していたのだが、中三の頃HELPを聞いて以来、虜になってしまっていた。今の自分を誰かに助けて欲しいなどと露程も思ったことはなかったのだが、「HELP」とジョン・レノンが叫ぶ声に響くものがあつたのだらう。彼等の曲を聞くとワクワクし、何かから解放されるような気がしていた。

高三の夏、突然頭の中で、ビートルズの曲「When I'm 64」が流れ出し、耳にこびりついてしまった。昭和五十年頃のその時代、六十四才という年齢の人は間違いなく老人だつたと思う。私は自分が六十四才の時どうなっているのか、考えようとしても想像がつかなかった。多分、大社の地には住んでいるだらうが、どんなお爺さんになつていて、何を考え、どんな暮らしをしているのか、まるで想像がでなかつた。それ程遠い未来のことだつた。卒業すると、この曲も鳴り止んだのだが、還暦を過ぎた辺りから又、頭の中に響き始めた。現在、六十四才を老人という人は少ないと思う。私もついに今夏満六十四才になる。身体的な衰えは自覚せざるを得ない。でも弾むような気持だつたあの頃の感覚は忘れたくない。

会員諸兄のご多幸を心よりお祈り申し上げます。



コロナ下の子どもたち

第44代 校長

江角 和生

コロナ禍も三年目。子どもたちを取り巻く環境について、ご紹介してみようと思います。

各教室には空気を循環させるための設置型扇風機二台、そして換気状況の目安となるCO2モニターを設置して、換気に努めています。また、強制換気のためのサーキュレーターも置いてあります。



上の写真、何の場面だと思われますか？一見すると授業のように見えると思いますが、これ「黙食」つまり、お昼ゴハンの風景です。楽しかるべ



かねて言われてきた教育のICT化ですが、ここ二年のコロナ下で、子どもたちの「学びの保障」という観点から、急速に進みました。昔ながらの「チョーク&トーク」をこえて、グループなどで取り組む対話的な授業を進める環境も整ってきています。しかし、皮肉なことに、コロナ禍が子どもたちの対話の機会を制限しています。粛々と黙食に取り組んでくれている子どもたちの姿に、一日も早くその忍耐が報われる日が来ることを願ってやまない毎日です。



コロナ下の今は、始業式や終業式、あるいは生徒総会といった集会も、この設備とZoomを活用して行ったりしています。

すべての教室には、パソコン等に直結できるプロジェクターとスクリーンがあり、多くの授業で利用しています。ちなみに、このスクリーンは書き込みもできます。



き昼食も自席で黙食。子どもたちは、涙が出そうなくらい、律儀に守つてくれています。授業等の風景もお届けしておきます。

令和4年度 いなさ会総会

今年度の「いなさ会総会」は例年通り八月十三日(土)有朋館にて開催、懇親会は昨年度に続き見送られることになりました。

島根県では、県内の新型コロナウイルス感染者数が減少傾向にあるとして、六月三日、県民に求めていた県外との往来自粛を全て解除すると同時に、飲食店の利用人数の上限「八人まで」を「十六人まで」に緩和することを発表しました。

これによって、懇親会は開催できませんが、総会につきましては全国各地から参加いただける状況になりましたので、コロナ感染防止対策を万全に行った上で左記の要領により開催する運びとなりました。

記念講演は下欄にご紹介いたします。高校34期の渡部稔さんに行っていたいただき、昨年同様ZOOMによるインターネット配信を行います。

お誘いあわせ多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

総会

日時 令和4年8月13日(土)

午前10時～12時

会場 大社高校有朋館大研修室

次第

(1)開会の辞

いなさ会物故者・恩師へ黙祷

(2)会長挨拶

(3)校長挨拶

(4)議事

①令和3年度会務報告、決算報告、監査報告

②いなさ会会則一部変更について

③役員改選について

④令和4年度会務計画・予算審議

⑤会報「いなさかい」について

(5)周年記念品贈呈、代表挨拶

①40周年 高校34期

②30周年 高校44期
③20周年 高校54期

(6)記念講演

講師：渡部稔氏(高校34期体育科)
演題：「出雲大社門前町 神門通り復活ストーリー」

(7)閉会の辞

～まちづくりひとづくり～



●講師紹介● わたなべ みのる 渡部 稔 氏 (高校34期体育科)

演題 「出雲大社門前町 神門通り復活ストーリー ～まちづくりひとづくり～」

【プロフィール】 1964年2月16日生まれ。島根県出雲市大社町出身。大社高校体育科(サッカー部)を卒業後、サッカー日本代表を目指して県外へ就職したが、怪我で夢をあきらめ出雲市に帰郷。レンタカー会社、トヨタ自動車などで社会経験を重ね、実家の(有)出雲観光タクシーを継ぐ。合併を機に、大社門前若者会を立ち上げ、神門通りの復活に貢献してきた。

〈現住所〉出雲市大社町 (職歴) (有)出雲観光タクシー 代表取締役、神門通り麴りの会 副代表、ディオッサ出雲FC 理事長、NPO法人いずも・ひとネット 理事長、一般社団法人 出雲観光協会 副会長

令和3年度 いなさ会総会報告

二年ぶりの開催となった令和三年度いなさ会総会は、二十五名ほどの会員のご参加を得て八月十三日(金)十時から有朋館大研修室で行われました。

初めに北島会長よりご挨拶があり、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえて、影響が出ていることへの御見舞いや、総会の参加者縮小、懇親会中止の経緯などが述べられました。

続いて四月に赴任された江角校長から、新任にあたっての抱負に続いて、新型コロナウイルス感染予防の徹底を図りつつ授業や部活動が行われている学校の現況についての説明があり、その影響を最小限に留めるべく努力が続けられている様子を伺うことができました。

議事では、令和二年度の会務及び決算報告が、昨年コロナ禍で中止となったためできなかった元年度分と合わせて審議、承認されました。

記念品贈呈は、四十周年の高校33期、三十周年の高校43期、二十周年の高校53期の皆様から、それぞれの代表者によるご挨拶が

あり、会長から謝辞が述べられました。

記念講演は「コロナ禍だからこそボランティア」の演題で、出雲市総合ボランティアセンター運営委員長の岸幹人氏(高校33期)によって行われました。

岸さんは大津町の出身で九州産業大学大学院で美術(アート)を学ばれた後、海外青年協力隊の隊員としてアフリカ、タンザニア連合共和国に三年、共産圏から独立して間もないポーランド共和国に二年間滞在、協力隊のアートの分野を担当して活躍されました。その間、途上国ではアートが生活に密着していること、ポーランドでは困難な環境におけるボランティア活動の重要性を強く感じられたなど興味深いお話がありました。

帰国後の一九九八年、出雲市の総合ボランティアセンター設立にあたっての呼びかけに応じて同所に勤務されており、出雲市におけるボランティア活動の現況について詳しく聞かせていただきました。

なお、講演は初めての試みとしてZOOM配信が行われました。



重要なお知らせ

ゆうちょ銀行の窓口やATMから協賛金を現金でお振込みいただく場合は

加算料金110円が必要

となります

二〇二二年一月十七日より、ゆうちょ銀行の送金料金が改定となりました。お支払い方法により送金料金が異なります。

同封の払込取扱票(払込料金が大手高校いなさ会負担)を使い、現金でご協賛いただく場合、あらたに一一〇円の加算料金をご協賛者様に負担いただくこととなります。ゆうちょ銀行の総合口座通帳またはキャッシュカードを使ってのご協賛をお振込みいただく場合は、これまで同様加算料金は必要となりません。

もし、ゆうちょ銀行の総合口座をお持ちでキャッシュカードをお使いの場合は、現金ではなく、口座からお振込みいただけますようお願い申し上げます。皆様からのお志のうえに、さらなるご負担を重なるよう、大変心苦しく思いますが、何とぞご理解いただけますようお願い申し上げます。

ご案内

いなさ会ホームページ 大社高校のホームページの中にいなさ会のページがあり、各種ご報告やご案内をしていますのでご覧ください。アドレスは <http://www.taishaed.jp/> です。

支部総会、同期会などのご案内もします。ご利用希望の方はいなさ会事務局までメールでご連絡ください。 taisha-inaasa@goemnet.ne.jp です。

住所変更

本紙を正確にお届けするため、住所等に変更がございましたら左記までがきにご連絡いただけますようお願いいたします。 〒699-10722 出雲市大社町北荒木1473

大社高校いなさ会事務局

周年記念に 寄せて

卒業40周年

34期生 木村 亨

日が沈む聖地出雲

校歌の一節からの雑感

大社高校の校歌の一節に「くれなる匂ふ空の色」とあります。個人的には紅に染まりながら神さびていく夕暮れ近くの情景を想像しています。

夕暮れと言えば、稲佐浜や日御碕では、カメラやスマホを夕



日御碕神社の鳥居に沈む夕日

日に向けている人が増えました。駐車場に県外車も多く、それだけ出雲の夕日の美しさが認知されてきたということでしょうか。「日が沈む聖地出雲」は、平成二十九年に、我が国の文化・伝統を語るストーリーとして、日本遺産（文化庁）に認定されました。

日本最古の歴史書の一つである日本書記では、出雲大社は「天日隅宮」と記されています。旧制大社中学校校歌にも「日隅の宮のかたほとり」とあります。その名称から、この地が古から日が沈む聖地として認識されていたことがうかがえます。

また、日御碕神社には、天照大御神を祀る「日沉宮」があり、古代には経島に鎮座していました。いまでも毎年八月七日には神幸神事が行われ、氏子による神輿行列ののち、経島で夕日を背景に神職が祈りを捧げます。そのほか、夕日の中に大漁旗をなびかせた漁船が船列をなす鷺浦の権現祭りや、大土地神楽保存会神楽方による夕刻篝火

舞など、ここ出雲では夕日にまつわる行事が執り行われてきました。生活の中に夕日への祈りの気持ちが息づいているのです。出雲の夕日はただ美しいだけではありません。古から人々が紡いできた歴史や生活が織りなす美しさであると思います。

卒業30周年

44期生 影山 祥大

仲間

今年度、いよいよ三十周年を迎えるにあたり、いろいろな思いを抱えています。

十年前、様々な事情があり、母校に勤務していた私が急遽一人で幹事の仕事を引き受けることになりました。横の連携をとる時間もなく、同窓会も開けずに四十四期の仲間には失礼なことをしてしまいました。

そんな思いもあり、三十周年の際には必ず...と思っていたところ、小学校からの同級生のあ

ないか」と連絡をくれました。彼は幼少期よりスポーツを通して仲間が多く、現在も地元で地域に根差した事業を行っている人物です。

あつという間に多くの世話役が集まりました。集団のトップに立つ資質に欠ける私とは違い、普段から地元の同級生と定期的

に残念ながら念願だった同窓会はコロナ禍のため実現できませ

仲間との繋がり、同級生との繋がりを今回ほど強く感じたことは、今までありません。この繋がりを今後も継続し、学び、出会うの場となった母校へ微力ながら尽力できればと思っております。



当時の学園祭での生徒と先生方の様子

卒業20周年

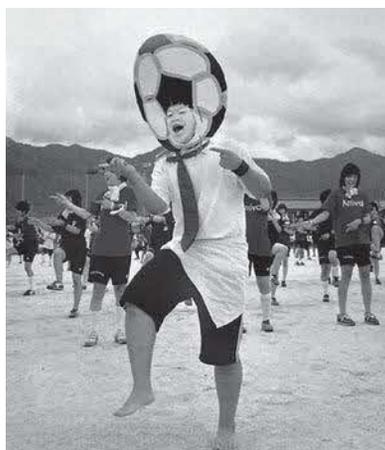
54期生 後長 直樹

卒業二十周年を迎えて

今年で卒業二十周年を迎え、月の経過がいかに早いかを感じることが多くなりました。

私事ですが、大学卒業後は島根県の公立高校で勤務することになり、縁あって平成三十一年度（令和元年度）より母校であります大社高校で勤務させていただいております。在学中は学

年で十クラスでしたが、今では三学年とも六クラスとなっております。しかし、北山を身近に感じるグラウンドを始め、体育館や浜山公園などでは今も変わらず各部活動が全国大会優勝を目指し活気ある雰囲気があります。勉強でも我々の在学時とは異なる



10クラス最後の体育祭

り、一人一台のICT機器を活用しながら、思考力・判断力・表現力等に磨きをかけるように展開されています。

思い返してみると文武両道の学校カラーは在学当時から色濃く、熱心な教育活動が展開されていきました。熱気溢れる体育教官室や進路実現に向けて遅くまで残って一人一人に適した進路指導をして下さる先生方がいらっしゃる職員室、当時の生徒

言葉で言う〇（ゼロ）限や八限も行われた修

行の場である教室や有朋館などは今も変わらず当時のままです。そして県内唯一の設置学科「体育科」の存在感

も非常に大きいものがありました。現在島根県高等学校総合体育大会総合の部四連覇中（令和三年度まで）であり、島根県のスポーツ界に貢献する人材を輩出し続けているのも伝統の力と感じております。このよ

うな伝統ある大社高校での学びは、現在の混沌とする世の中でも堂々と生き抜くための力を指し示してくれているように感じています。この校訓のもと果

協賛金のお礼とお願い

例年協賛金をお送りいただき、まことにありがとうございます。

皆様のお志に厚くお礼申し上げます。

本会報は皆様方からお寄せいただいている協賛金を運営の資金と致しております。しかし、年々協賛金が減少しており、大変厳しい状況にあります。

本会の発展に寄与する本紙発行に、益々のご理解とご協力をお願い申し上げます。

郵便振替用紙を同封致しておりますので、一口千円から協賛金をお払い込みくださるようお願い申し上げます。

寄付金の御礼

「令和三年度いなさき周年記念寄付金」につきまして、高校33、42、43、52、53期の皆様より多額のご寄付を賜りました。厚くお礼申し上げます。

寄付金は有朋館の管理費、弓道場敷地費用等に有効に使わせていただきます。

母校のため、快くご寄付いただきました皆様にご心より感謝申し上げます。

支部だより

東京いなさ会

会長 岩成進吉
(高校26期)

昨年に続き、この一年もCOVID-19のパンデミックの継続により、第六十六回(令和三年度)東京いなさ会総会は中止を余儀なくされました。



第100回全国高校サッカー選手権大会 大社×青森山田戦 応援に行きました。

例年の総会では、本部いなさ会会長、母校の校長、大社高校卒の教員の方々に出席していただき、最近の町の様子や本部いなさ会、いなさ会各支部の活動母校の様子などが何うことを楽しみにしていましたが、それも叶わぬこととなりました。

令和三年十一月十三日に東京いなさ会の会員からうれしい連絡が入りました。サッカー部が昨年に続き第百回全国高校サッカー選手権本大会への出場を決めてくれました。令和三年十二月三十一日の対青森山田(青森)戦には昨年の大会より多くの東京いなさ会会員が駒沢競技場へ足を運び、マスク越しに声援を送りました。残念ながら○対六で敗退となりましたが、応援席一同、来年の百一回大会への三年連続出場を期待しつつの散会でした。

令和四年度の第六十七回東京いなさ会総会は令和四年十一月二十六日(土)に千代田区神田錦町の学士会館での開催を予定しています。

東京いなさ会会員の皆様には知り合いの同窓生をお誘いあわせての参加をお待ちしています。また他地域の会員参加も大歓迎です。是非参加いただきませう。是非参加いただきませう。是非参加いただきませう。

●連絡先 事務局 安達久文
(高校30期) 電話 〇九〇一三〇六六一六四三六

中部いなさ会

会長 草谷八郎
(高校13期)

三十年余り前、中部いなさ会で、当時の宇佐美会長から、事務局をやれとの命を受け、その後、瀧川会長、樋野会長、飯島会長の元で、お手伝いをしてきました。突然、会長役が回ってきました。途端にコロナ禍に見舞われ、二年間、総会は開催できず、今年こそは、「いなさ会総会ウイズコロナ」をやるうと、幹事諸氏に相談しているところですが、敵もさるもの次々に変異を重ね、今もって結論を出しかねているところです。(最終的に、九月初旬に会報にてお知らせします)

「中部いなさ会総会」は中部地区にご在住の大社高校の卒業生や近隣の方が「お久しぶりで、お元気ですか」から始まり、昔話で思い出に浸り、温かい気持ちで分かち合う場を提供するための会です。しかし、最近では各地のいなさ会同様、会員が減少する一方です。

近畿いなさ会

会長 大隅弘道
(高校14期)

一昨年、昨年と続いて総会が開催できませんでしたが、誠に残念なことでした。オミクロンXE、BAなど新菌が現れて来るなど全く予断を許しませんしワクチン接種も今後どのように進むか分かりませんが、現在はやや落ち着いてきた感じがありますので、今年は開催できるのではないかと思っている所です。

大阪府のガイドラインやホテルの内規に沿った形での開催になるので人数制限をしながらの開催になるか減少する方の心配があります。会員の皆様も楽しみに



今年の開催は？ 会議を終えた千家副会長、山崎事務局長と共に

はなすだすて、もう、ふるさとへもどったやな、ほわつとすた きもちになあ会ですわ。ま、いっしょにやあましょや

京滋いなさ会

会長 多々納裕一
(高校32期)

第四十二回総会は、ハイブリッド形式で開催でした。会場に、北島会長をお迎えし三十一名の参加がありました。

今年は別所親房会長が勇退され特別顧問に就任、私が後任を務めさせていただくことになりました。別所先生のご尽力とお

お待ちのことと思いますので是非開催できるように進めてまいります。コロナ騒動、ウクライナ紛争の一日も早い終息を願い、平安な日が来るのを願うと共に、皆様のご健康とご活躍を祈っております。

人柄にひきつけられ現在まで支部活動が継続できていたことを顧みますと、力不足ですが今後とも楽しい集まりを継続できるように精一杯努めたいと思っております。よろしく願いいたします。

講演は、富田真治様の「コンピュータ・過去、現在と未来」でした。(富田先生は、大社町真名井のご出身で京都情報大学院大学副学長)

江角校長から高校の近況を、京滋いなさ会は十代から九十年代の参加者全員が近況報告をし、オンラインで、大社高校の会場から高木弘伸先生、長廻崇前教頭、中興忠明先生、板垣亨先生、事務局森脇伸江さんが参加。全国のいなさ会にも呼びかけ、東京いなさ会事務局長安達様、斐川いなさ会会長山崎様、広島いなさ会会長内藤様、近畿いなさ会会長大隅様、県庁いなさ会会長中澤様、本部副会長和田様も参加いただきありがとうございます。

来年のこの会にはぜひ新人会員の皆様のご参加を期待したいと思っております。

●連絡先 事務局 石川百合子
(高校38期) 電話 〇九〇一八四八四一七九六三

米子いなさ会

会長 石部裕一
(高校13期)



米子城跡より望むダイヤモンド大山
(2月20日頃と10月22日頃に見られる)

令和四年度も収束を見ないコロナ禍で様々な社会活動が大きな影響を受けています。米子いなさ会では五月に役員会(書面)を開催し、五十八回まで続いた行事(上期の総会と下期の観光旅行)は昨年度に引き続き残念ながら中止と決定しました。また、副会長の村上慶吾様は定年を迎えられ、七月頃には実家の大社町へ帰郷されます。長い間ご尽力ありがとうございました。さて、最近の米子の話題と云

する米子城跡三の丸(旧湊山球場エリア)は国史跡へ追加指定され整備が進行中です。駐車場も整備され天守まで徒歩十五分変貌を遂げつつある米子城跡で楽しい一時を過ごしませんか。(ホームページ <https://www.yonagocastle.com/>)

●連絡先 会長 石部裕一
(高校13期) 電話 〇九〇一八二四五
一〇二二二

県庁いなさ会

会長 中澤信善
(高校34期)

県庁いなさ会は、コロナ禍の影響で二年連続総会の開催を見送りました。仕事柄職員の異動が多く、役員は一年々数年、事務局は毎年交代という形になっています。総会ができないことで新しい役員や事務局を選ぶことができず、体制を維持できるかどうかという問題にもつながっていました。

今年度は、大國前会長が昨年度から動かれたため、私の方で会長を引き受けさせていただくことになり、事務局を後藤さんにお願ひすることができて、なんとか体制を引き継ぐことができました。

県庁いなさ会は約一五〇名の会員があり、それぞれの立場で



先日行われた事務局の引き継ぎ資料。先日行われた事務局の引き継ぎ資料。先日行われた事務局の引き継ぎ資料。

県政に携わっています。この二年間は開けていませんが、総会は年代の近い者だけでなく、年代の異なる様々な会員とのコミュニケーションを図る場となってきました。

現在、県では引き続きコロナウイルス感染症の早期収束に向けて全力で取り組んでおり、今後の推移を注視していく必要がありますが、今年こそ総会が開催できればと考えています。

●連絡先 事務局 後藤崇志
(高校46期) 電話 (〇八五二) 二二一五一五三

松江いなさ会

会長 江口博晴
(高校10期)

今年の総会は十月二十九日に「サンラポーむらくも」で開催予定です。記念講演は梶谷光弘氏「華岡青洲の真実」。小説と史実のはざまを聴くのを楽しみに行っています。九月発行予定の会報でも、華岡青洲に学んだ江戸時代の出雲国の医者・西山砂保(すなほ)を紹介します。今年こそ総会で懐かしい顔に会いたいものです。

松江いなさ会では運営費として年会費二千円の納入を各位にお願いしておりますが、令和三年度は前年よりも十名も多くの方からご協力いただき喜びました。結成から四十年近く、松江いなさ会の絆をさらに発展させて行きたいと思っております。

市の南郊には作家竹山道雄が純粋性を激賞した神魂(かもす)神社、中心部には作家杉本苑子とその重厚さを老将の風格と讃えた重厚な趣の松江城。二つの



今年こそ!! 2018年の懇親会

国宝を持つ私達の町・松江へ全国のいなさ会の皆様、ぜひお越しください。

●連絡先 事務局 糸賀耕一
(高校19期) 電話 (〇八五二) 二四一五一九四

広島いなさ会

会長 内藤秀夫
(高校14期)

残念ながらコロナ禍の中、二年間広島いなさ会を開催することができませんでした。この間医療、看護に従事して来られた多くの卒業生の皆様には敬意を表します。

広島いなさ会も平成十四年に発足して以来、今年は二十年の節目の年になります。ここまで続けてこれたのも卒業生の皆様の母校への思いと共にいなさ会、また母校の皆様の支えがあったからです。感謝しております。

近年は個人情報保護の観点から卒業生の皆様に広島いなさ会の集い等の連絡が困難になってきております。これからはオンラインでの参加、SNS等での呼び掛けを検討したいと思っております。

コロナ後の新しい広島いなさ会に向けて支部総会の開催が難しいなか、異例でしたが三月に書面で幹事会を開き、新しい会長を選任致しました。新会長と共に卒業生の皆様との会話を楽しみ、また母校、故郷への思いを今以上に語ることのできる広島いなさ会にしたいと思っております。世の中も動き出し広島いなさ会のご案内をするのも近いと思っております。広島にお住まいの皆様参加をお待ちしております。

●連絡先 曾田俊二(高校27期)
新会長 事務局 岸利一
(高校30期) 電話 (〇八二二) 二二三一五六〇四



事務担当の皆さん(令和4年2月撮影)

斐川いなさ会

会長 山崎文夫
(高校20期)

斐川いなさ会は、令和元年十二月七日、数年振りに開催し、「来年度も元気でおいしまししょう」と約束し散会しました。しかし、その後新型コロナウイルスの影響で開催できずいます。今年度は状況を見て開催可否を検討したいと考えて

います。

令和元年の開催時には、この会報を読まれ事務局に連絡され参加された方もいらつしやいましたが、大半は五人の幹事が知り合い等にお声掛けさせていただき参加していただきました。その為、斐川在住、斐川出身者で会に参加したい方もいらつしやつたと思いますが、失礼させていたいただいのではないかと思っています。是非事務局へ開催可否等の問い合わせの連絡をいただけたらと思います。お待ちしております。よろしくお願ひします。

●連絡先 事務局 小山峰明
(高校29期) maru0614@icv.ne.jp
電話(〇九〇一六八九一七三九五)



斐川町内、4月の菜の花畑です。多くの見物客があります。

いなさ会支部のホームページのご案内

本校ホームページに「京滋いなさ会」「東京いなさ会」「近畿いなさ会」のリンクがあり、各々の支部ホームページにリンクしています。ご覧ください。

会員だより

仕事は死ぬまで

寿命はあるまで

正司 光 男氏(中学49期)



90歳現役。東奔西走!

塘春草の夢 階前の枯葉すでに
秋声」と続きます。

「春の草が萌える池のほとり
で、うつらうつらと甘い夢を見
ていると、時間の流れは誠に早
いもので、階段の前の青桐の葉
には、もう早くも秋風が渡つて
いる」ということになりました。

世の中変わり、人生八十数年
という長寿時代になりました。
時代が変わりますと、この詩
の教えもどうも今の世の中に
ぴったりこないようです。

しかし、人生を長いと感じよ
うと、短いと感じようと、どち
らにしたって、「少年も老いも
生涯教育軽んず可からず」
「仕事は死ぬまで寿命はある
まで」いつの時代でも変わり
ないでしょう。

「また、うるさいことを言っ
ている」
なんて思わないで、少しの時
間でもバカにしないで、自分とい
うもの、生きていくということ
に感謝したいものです。

愛情

朝鮮戦争で負傷したアメリカ
の青年が、本国に送還され、青
年は病院から、父親に電話しま
した。父親はすぐ迎えに行く
といいますが、息子は、「今ここ
に、両足を切断された親友が
いる。その親友と一緒に我が家
に連れて帰ってほしい」と言
いました。父親は、二、三日
なら連れて帰ってもいいと言
いました。息子は、二、三日で
なく一生の間親友の面倒を見
たいと言いました。

「そんなことはできない」と
父親は断りました。そして、父
親は急いで病院に息子を
迎えるに行きました。

病院にいた父親は、医
者から息子の遺品を手渡され
ました。息子は、父親と電話
で話した直後に自殺した
のです。

遺体を見ると、息子の
両足を切断された親友とは
自身だったわけです。
青年はよく知っていた
のです。肉親の愛情が本質
的にエゴイズムであることを。

確かに、親は子を愛
しますが、その愛は、「わが
子だけがよければいい」と
いった利己的な愛が多い
のです。子どもが愛する
ことができないが、子
どもが非行に走った
り、親に反抗してくる
ようなときには、憎し
みにすら変じるもの
です。

青年は、両足を失
った自分を本当に愛
してくれる本当の「愛」
を親に求めていた
のです。

出会いと発見

加藤 寿朗氏(高校33期)

昭和五十六年に高校を卒業し
てから四十年あまり経ちました。
小学校教員からスタートした教
職生活ですが、現在は島根大学
教育学部で教育学(専門は社会
科教育)の講義をしています。
私が教師を目指したのも、教職
を続けてきたのも、これまでの
人との出会いに大きな影響を受
けてきたからだと思います。

ある小学校でお世話になった
校長先生の話です。
その学校では、一年から六年



新入生オリエンテーションでの挨拶

生までの児童全員が参加する集
会が毎週ありました。そして、
校長先生の話子どもはとて
も楽しみにしていました。担任
話を学級通信にまとめ、その日
のうちに保護者に伝えていま
した。ある朝会での話です。
皆さん、チューリップの歌を
知っていますか。一年生は「当
たり前、歌えるよ」と言いま
す。そして「咲いた咲いた、チュ
ーリップの花が/並んだ並んだ、
赤白黄色/どの花見ても、きれ
いだな」と大きな声で歌
いました。

校長先生は子どもに尋
ねました。この歌では、
チューリップの花の色
は一つ一つ違います。色
は違うけれど、どの花も
きれいだと言っています。
でも、それだけでしょ
うか。

子どもたちは考えま
した。「赤いチューリップ
は、白いチューリップの
花があるから美しい。白
いチューリップは赤い
チューリップがあるから
もっと美しくなる」、「違

う色のチューリップがあるから
チューリップ畑全体が美しい」
「学校も一緒。一人ひとりが違
うから、一人ひとりが生き生き
できる」と。

「チューリップの歌は三番ま
であるようです。気になる人は
調べてみてくださいね」と添
えて、その日の校長先生の話は
終わりました。

おそらくたくさんの子が三番
まで調べ、歌詞に込められた意
味を考えたと思います。教員に
とっては、「個と集団」の関係
を考える貴重な機会となりまし
た。

この校長先生のご専門は国語
教育です。誰もが親しんできた
チューリップの歌に込められた
思いを読み取り、それを一年か
ら六年までの異なる段階の子ど
もが、その子なりに考えられる
教材にしています。校長先生と
の出会いと様々な場面での発見
は、私が目指す教師像に影響を
与えました。

この話をもとに教育学部に入
学した新入生に次のように伝え
ました。深い専門性と確かな子
ども理解、それを基盤とした高
い指導力を身に付けて下さい。
そして、たくさんの方との出会
いと発見を大切にして下さい。
還暦を迎える年となりました。
出会いと発見、そして感動を大
切にできたらと思います。

暮らしの中の看護学教育

阿川 啓子氏 (高校38期)

私は、現在、島根県立大学出雲キャンパス(看護学科)の教員をしております。昨年の研究ゼミ生には、大社高校卒業の学生がいたことから大社高校の話をする機会があり、懐かしく思っていました。また、令和三年度より、大社高校魅力化コンソーシアムの委員として、大社高校の教育活動に関わらせていただいております。

私の専門は「地域・在宅看護論」です。そのために、暮らしの中にある看護の研究に取り組んでいます。しかし、二十三年間における私の臨床経験の多く



米国で日本の看護の素晴らしさを伝える

母親は一年九か月の闘病生活の末、七十歳で亡くなりました。母は病院嫌いであつたことから闘病生活の多くの時間を家で過ごしました。しかし、当時の私は看護には精通しているものの、介護保険制度に関する知識は乏しく、介護

サービスは何も導入していませんでした。家で母と共に暮らせたことは大変嬉しく思います。母の看取りには様々な後悔もありました。母の在宅での看取り経験がきっかけとなり、地域で活躍する看護実践者を育成している石川県立看護大学看護学研究科コミュニティケア分野で地域看護学の勉強を始めることにしました。大学院(博士後期課程)では、地域で暮らす当事者の皆様の経験を論文にしています。その際のご縁がきっかけとなり、現在、学生と一緒にリモート在宅療養生活訪問(在宅カフェ)を定期開催しています。地域・在宅看護学では、個性を尊重した看護実践を教育します。しかし、個々人は、どうしても自分の知識の範囲の中でしょうか物事を判断できません。それでは、多様性ある暮らしを理解した教育にはならないと考え、リモート訪問を企画しました。このコロナ禍のお陰でリモート環境は整い、一般の方でも気軽にライブ中継ができる時代になったことがこのカフェの成功に繋がりました。

自粛、自粛で規制のある生活は続きますが、良いように変化した時代の流れも感じながら、私自身、地域の人々と交流する機会の懸け橋となれるような看護学教育を目指して、これからも活動していきたいと考えております。

ご縁に恵まれた人生、故郷への思い

手 銭 大氏 (高校62期)

私が大社に越してきたのは十八年前、中学へ入学する時のことだ。夜行バスで東京から出雲へ。父の故郷へ帰ってきた形であるが、新生活に対する不安でいっぱいの中、明け方出雲市駅へ降り立った際の冷たく澄んだ空気は今でも覚えている。

とも交流を深め互いに高め合った日々は私の財産である。また私生活でも仲間との素晴らしい思い出や絆を得ることができた。その全ての経験が今の自分を作っていると思うと、当時の仲間や環境には感謝の思いでいっぱいである。

そんな不安は地域の方々の温かさに触れすぐに解消された。道行く人と挨拶を交わすこと、同級生でも友達を〇〇くん、〇〇さんと呼ぶこと。以前住んでいた地域では無かった習慣に驚くと共に、同級生含め地域の方々の温かい人柄に惚れ、私は大社の地が一気に好きになった。

その後も野球人生は続き、昨年実業団野球チームを引退した。私はここまで野球を続けられる実力は無かったが、とにかく周りの方とご縁に恵まれ今があると痛感している。高校の監督から捕手転向の提案がなければ私の野球人生は早々に終わっていたであろうし、大学では大社の大先輩から日々激励を頂き支えて頂いた。社会人最後の三年間はデータ分析の職を担当、優秀な指導者に野球の見方を一から教わった。そしてここでもご縁

三年後には大社高校へ進学し伝統ある野球部で甲子園出場を目指した。高校を決める際は大いに悩んだが、最後はここ大社の地から甲子園に行きたい、地域の方々に甲子園出場を喜んで頂きたいの思いが大社高校進学を決め手となった。甲子園出場の夢は叶わず、二年連続決勝敗退など悔しい結果となったが、私は心の底から大社高校へ進学してよかったと思っている。文武両道を目指し、他部活の生徒

を頂き、現在は浦和学院高校前監督・森士先生のもとで地域スポーツクラブの立ち上げに携わると同時に、浦和学院高校野球部の外部コーチ・データ分析として今春の選抜高校野球大会に帯同、全国ベスト四を経験した。全国で勝つチームを中から見つ、森先生のもとで組織運営や人間教育のあり方を学んでいる。大社に越してからのご縁の数々には到底書ききれないが、怖いくらいに全てが今に繋がっていると実感している。こうして頂いたご縁を、次は私が何らかの形で母校に還元して行きたい。いつか母校が甲子園に出場し、地域の方々に見守られる中、全力で躍動する子供たちの姿を楽しみに、私も日々前に進んでいこうと思う。



今春の甲子園球場 母校の出場を願いつつ



進路状況

今春の入試において、本校の国公立大学の合格者は現役・既卒生あわせて74名でした。大学入学共通テストの大幅な難化や、年が明けてからの新型コロナウィルス感染の再拡大により、厳しい条件下での受験となりましたが、生徒達は最後まで粘り強く努力してくれました。特に昨年は学年全体の人数がクラス減により令和二年度生より大きく減っていることを考慮に入れば、国公立大学の合格者数は大健闘と言える結果です。

国公立大学全体の概況としては、昨年同様に島根大学、島根県立大学の合格者が最も多く、近年の地元志向の高まりを反映したのになりました。国立大では北海道大学の合格者をはじめ、広島大、岡山大等のいわゆるブロック大学の合格者や、公立では京都府立大、大阪公立大等の公立では難関とされる大学の合格者もおりました。

一方、私立大学の入試は、ここ数年見られた定員厳格化による難化傾向が少し収まってきた印象があり、例年並の合格数を得ることができました。また短大については、進学者の資格志向が進む傾向の中で志望者自体が減ってきている現状です。専門学校は、公務員合格先が減少した。高看はこのコロナの感染状況もあって受験先をむやみに広げず、進学先を精選した県内中心の受験となりました。

就職状況は、公務員合格先が国家公務員、島根県職員、島根県警、出雲市職員、自衛官でした。民間の就職選考については、昨年は選考日程等の大きな変更もなく、また近年高校への求人数が安定していることもあり、ほぼ希望どおりの事業所から内定をいただくことができました。これからの生徒達は新しい教育課程の下、自ら課題を設定しその解決のために他者と協力しながら物事を進めていく能力と、自らの考えを深める思考力や、その考えを表現する力がますます求められるようになっていきます。

令和三年度も放課後や休日にとくさんの生徒が有朋館で学習に励んでいました。今後も有朋館を有効に活用しながら、生徒のために充実した学習環境を整えていきたいと考えています。

1. 進学状況

(合格延べ数・過年度卒業生を含む)

		元年度	2年度	3年度
大 学	国公立	63	71	74
	私 立	243	230	223
短 大	公 立	9	24	13
	私 立	19	12	12
高 看		37	23	21
専門・各種 (高看を除く)		31	38	33
合 計		402	398	376

2. 就職状況

		元年度	2年度	3年度
公 務 員		5	5	3
民間事業所		8	9	4
計		13	14	7

県高校総体 惜しくも5連覇ならず

今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響が続く中、感染症対策を実施しながらの開催であった。昨年度から今年度にかけて、練習や調整が充分行えないう時期もあり、不安の中で大会を迎えた生徒もいたのではないかとと思われる。そのような状況

においても、各部が感染症対策に気を遣いながら工夫して練習し、無事県総体を終えることができた。惜しくも総合優勝5連覇は逃したものの、男女総合2位(男子総合3位、女子総合2位)という結果であった。

陸上競技(男女)、体操競技(男女)、剣道(男女)、弓道(男子)、バレー(女子)、サッカー、テニス(男女)が得点を獲得している。各種目の学校対抗順位では、陸上競技(男女)、剣道(男女)、体操競技(女子)が優勝、バレー(女子)、サッカー、体操競技(男子)が2位、テニス(男子)が4位、テニス(女子)が6位、弓道(男子)が7位となっている。優勝した松江南高校との差は4点と僅差であった。

今年度の全国総体は、四国(徳島・香川・愛媛・高知)、和歌山で開催される。出場を決めた部活動には、大社高校と島根県代表としての誇りを持ち、上位入賞や全国制覇を目指して頑張ってほしい。

令和4年度 第60回島根県高等学校総合体育大会成績 (Aグループ)

男女総合			男子総合			女子総合		
1位	松江南	177点	1位	浜田	104点	1位	松江南	91点
2位	大社	173点	2位	松江工業	91点	2位	大社	85点
3位	出雲	169点	3位	大社	88点	3位	出雲	83点
4位	浜田	150点	4位	松江南	86点	4位	松江商業	80点
5位	松江東	135点	4位	出雲	86点	5位	明誠	71点
6位	明誠	111点	6位	開星	70点	6位	松江東	66点



◆男子陸上部・女子陸上部 総合優勝 (男子 7大会連続36回目) (女子 12大会連続30回目)



◆女子体操部 団体優勝 (3大会連続49回目)



◆男子剣道部 団体優勝 (18大会連続39回目)



◆女子剣道部 団体優勝 (6大会連続28回目)